

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		マザーズ四十万			公表日	2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・児童が広々とスペースを使用できるよう、 unnecessaryなものは片付けている。 ・余暇や活動で使用するスペースを個々に区分けしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	日々の人員配置の確認をチームで行っている。人員配置について法令遵守に基づき運営している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・視覚表示を使いスケジューリングやおもちゃの貸し借り、片付けリストを見える化し過ごしやすいようにしている。 ・危険箇所・触ってはいけない場所にはイラストを用いてわかりやすくしている。マット等は一部古いマットがめくれている場所もあるので今後めくらないようにしていく。	マットの入れ替えや貼り付けを行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・ unnecessaryなものは全て片付け、毎朝清掃、消毒時間を設けることで分担して清掃、清潔に保つことができている。 ・子どもたちの活動に合わせて空間を分けるなどの工夫をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	体調不良や一人になりたい時など気分を落ち着かせたい時には静養室、読書をしたい時には学習室など、個々のニーズに応じた空間を確保できる環境になっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	朝礼、終礼を必ず行い振り返りや情報共有を行い業務改善に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・評価表を全員が閲覧できるようになっており、それに基づき改善点等を話し合っている。 ・全職員把握をし、改善業務につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の朝礼や終礼で意見の把握、改善を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	今後、必要性に応じて実施を検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・年間計画に基づき、職員の資質向上のための研修を行い、外部研修には代表で参加した後、伝達研修を行っている。 ・研修以外にも朝礼時の勉強会や療育テストを実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムは今後公表予定。SNSを通じて公表を行っている。	公表後保護者の方に周知を行う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者にもわかりやすい言葉や事例を用いて面談し、必要な支援は何かを探り計画作成を行っている。	面談等、児童にも積極的な参加を呼び掛けていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・評価の際に職員で様子等を共有した上で次の計画へとつなげ、支援担当者会議で支援内容のすり合わせを行っている。 ・朝礼や終礼、会議などでどうするか話し合っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・日々、勉強会の時間を設けており、その中で氷山モデルを使用しながら、計画に沿った個別の支援内容を検討、実施し振り返りを行っている。 ・計画にある支援目標に沿った支援を毎回記録している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	マザーズ四十万				公表日	2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		勉強会を通して職員全体の理解を深められるようにしていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・全事業所の職員がチームを作り、作成、実施、改善を行いプログラムをブラッシュアップしている。 ・それぞれの分野で会議を開き、立案・振り返りから予習を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・プログラムの作成、実施、改善を行いプログラムをブラッシュアップしている。 ・実施後に反省点などを会議を通して話し合い、改善につなげている。 ・同じプログラムでも少しずつ変えて行っている。	個々に応じてプログラムを実施できるようさらに工夫していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別に対応しながら、集団活動に参加できるよう支援を行っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼にて活動内容、担当の確認を行い、来所する児童への必要な支援についても確認、終礼で振り返りを行っている。	職員間の声掛けが不十分なことがあるため、声を掛け合い連携を強化する。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・終礼の時間を決めて行い、参加できなかった職員とは朝礼若しくはノートにて共有を行っている。 ・情報共有をし、反省点を話し合い、改善につなげている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	自社のアプリを活用し、支援記録を行った上で終礼にて振り返りを行っている。	個々に合わせたケース会議を定期的開催していく。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	必要な計画の更新を行っているが、今後さらに積極的に見直しを行い、必要に合わせて計画の見直しを行っていく。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	平日には地域交流の機会を作ることが難しいが、長期休暇を活用し様々な地域交流を行っている。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	なるべくオープンクエスチョンを心掛け、信頼関係のもと自分の思いを表現しやすい環境を整えている。			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	マザーズ四十万		公表日		2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	基本的には児発管が参画しているが、今後指導員も一緒に参加できるようにしていく。	指導員も一緒に参加できるよう日程調整を行う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	学校との連絡を送迎時に行っている。必要に応じて積極的に会議を開催している。	様々な機関との連携の強化が課題である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	送迎時に情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	様々な機関との連携をさらに強化していく。今後必要に応じて実施をしていく。	事業所の周知、連携が難しいのが現状であり、連携の強化が課題である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	今後実施予定。	今後必要に応じて連携できるようにしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	今後必要に応じて実施を検討していく。研修に参加し情報共有を行えている。	研修に積極的に参加する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	イベントを開催し、地域の児童クラブにも参加を募っている。また、長期休暇中に交流できる場所に出かけ、交流できる機会を作っている。	継続的に交流の機会を作っていくことが重要。つながりを強化できるようにする。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	協議会の開催する研修等へ積極的に参加している。代表者が参加し、情報共有を行えている。担当者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時にはもちろん、専用の連絡ツールを活用し、日々の様子や支援内容について共通理解を図っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・年に2回保護者会を開催し、保護者のニーズに合わせたペアトレや情報提供を行い、支援に対するアドバイス等も行っている。 ・茶話会を開催し、保護者の方も一緒に普段行っている活動を行ったり、悩みを話せる機会を作っている。	家族が参加したいと思う内容での開催となるよう企画する。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	マザーズ四十万		公表日		2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時や変更時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談時に保護者の意見や児童の思いの聞き取りを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	支給決定保護者との面談、説明を行っている。丁寧かつ具体的に説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	その場でお答えできることはその場で、必要に応じて別日にお話しできる時間を設けて実施している。	職員により回答内容が異なるなど保護者の方が戸惑わないよう職員間で共有したり確認したりしていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・保護者会を年2回開催し、交流の機会を設けている。 また兄弟児の参加も可とし、交流できる機会を設けている。 ・チャレラン大会など兄弟が参加できる機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情対応の体制が整っており、苦情があった場合には迅速に対応できる体制が整っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・SNS、ブログの活動、新聞の発刊を行っている。 ・予定表や新聞を用いて日々どのような支援をしているか、どのような活動をしているかを伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付きキャビネットにて保管している。契約時に同意書にサインをいただいている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	様々な方法で聞き取りを行ったり、対面、自社アプリを活用して情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	イベントに地域の方の参加を募ったり、地域の方との交流、ボランティアの方に来ていただくなど行っている。	定期的に地域の方を招くイベントを企画していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・年間計画に基づき訓練を実施している。マニュアルについては契約時に説明、自社アプリにて常時閲覧できるようにしている。 ・勉強会等で読み返すようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・年間計画に基づき計画的に実施している。また、日々の勉強会を活用し、非常事態に備えている。 ・予想される子どもたちの動きや災害について話し合い、訓練を行っている。	訓練を行ったことも情報発信していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメント時に必ず確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーへの対応はないが、今後必要になれば対応していく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	年間計画を作成し実施している。	安全管理のチェックリストの作成と実施を行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に説明を行っており、自社アプリにて常時閲覧できるようになっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事業所内のみでなく、他の教室とも共有し字教室の環境の見直しを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	年間計画に基づき職員研修を実施し、代表が外部研修に参加した後、伝達研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	今後実施の検討が必要であれば、組織的に決定し適切な手順で行うようにしていく。	